



学校便り

令和6年度-NO.10

一秒の言葉

年が明けてはや一か月、暦の上ではもう春を迎えます。子どもたちは卒業まであと何日、学年末まであと何日・・・と、残された時間に思いを巡らせる毎日かもしれません。

一秒の言葉

「はじめまして」

この一秒ほどの短い言葉に

一生のときめきを感じることもある

「ありがとう」

この一秒ほどの短い言葉に

人の優しさを知ることがある

「がんばって」

この一秒ほどの短い言葉で

勇気がよみがえってくることもある

「おめでとう」

この一秒ほどの短い言葉で

しあわせにふれることがある

「ごめんなさい」

この一秒ほどの短い言葉に

人の弱さをみることがある

「さようなら」

この一秒ほどの短い言葉が

一生の別れになる時がある

一秒に喜び 一秒に泣く 一生懸命、一秒

小泉 吉宏

出版社 メディアファクトリー
発売日 二〇〇九年一月二十一日
小泉吉宏著「一秒の言葉」より引用

これはある時計メーカーのCMに使われた詩です。1985年の大晦日、たまたまこのCMを見た私の心に強く残りました。このCMは、その時たった一度放送されただけでしたが反響をよび、コロナの自粛期間中には2020バージョンとして流れていたのご存じの方もいるかもしれません。

「はじめまして」「ありがとう」「がんばって」「おめでとう」という、たった一秒の短い言葉が、相手の一生に残る言葉になることもあります。子どもたちには、相手の気持ちに気づき、あいさつや声かけができる人に育ってほしいと願っています。そのために少しの勇気を振り絞って「一秒の言葉」を自分から発してほしい。「おはよう」「こんにちは」「どういたしまして」「どうしたの?」・・・、たった一秒の短い言葉を声に出して言うことを面倒くさだったり、ためらったりせずにいたいものです。

時間は誰にも平等であると同時に限られています。これらの言葉はその限られた時間の中でも何度も声に出して言うべき言葉であり、これは決して時間の無駄遣いではないと思います。

誰にでも平等に与えられている時間。一日24時間、秒に換算すると86400秒。

卒業、進級までの限られた時間、「今」という時間を大切にすると同時に「一秒の言葉」も大切にすごしてほしいと思っています。

(校長 小山 陽子)

【2月の予定】

- 3日（月）委員会活動
- 5日（水）入学説明会 15:00～
- 6日（木）児童会選挙(5校時)
- 7日（金）地区バスケットボール大会
- 10日（月）クラブ活動
- 12日（水）参観・懇談(のぞみ) 5校時終了後下校
- 13日（木）参観・懇談(1～3年)
- 14日（金）参観・懇談(4～6年) 5校時終了後下校
- 17日（月）クラブ活動
- 18日（火）児童会役員引き継ぎ式（8：30～体育館）
- 19日（水）大なわ大会 1年昔遊び（地域との交流）
- 21日（金）6年校外学習 3年幼稚園との交流会
- 25日（火）委員会活動 月曜時間割
- 28日（金）5校時終了後下校

【3月の主な予定】

- 3日（月）6年生を送る会
- 4日（火）5年校外学習
- 14日（金）給食終了日 給食終了後下校
- 19日（水）卒業証書授与式
- 25日（火）修了式

【創立記念日について】

2月20日は武庫小学校の創立記念日です。今年は152周年です。本校は明治6年2月20日に浄正寺本堂を仮校舎として誕生しました。尼崎市で最初にできた小学校です。その伝統と誇りをこれからも受け継いでいきたいと思ひます。

【大縄大会について】

体力の向上とクラスの団結力の向上を目指して、2月19日（水）に大なわ大会を行います。クラスで大なわを回して八の字跳びをし、3分間で跳んだ回数を数えます。全てのクラスの回数を合計して、武庫小ギネスとして記録します。昨年度のギネス記録は2526回です。これを越えられるように休み時間にクラスで練習する姿が見られるといいなあと思ひます。当日の結果はホームページでお知らせします。